

ヴィットリオ・グリゴロ テノールコンサート2020

※公演は2021年の開催です

東京公演
※振替公演

10月31日 (SUN) 2021年 18:30開場 / 19:00開演 会場:サントリーホール(大ホール)
指揮:マルコ・ボエーミ オーケストラ:東京21世紀管弦楽団

チケットのお申込みはこちら

- アーチ・チケット <http://arch-ent.jp/> (インターネット販売のみ)
※お買い求めには登録料・年会費無料の会員登録が必要です。
- チケットぴあ【Pコード:196-567】 TEL:0570-02-9999
- ローソンチケット【Lコード:31928】 <https://l-tike.com/>
- イープラス <https://eplus.jp/>
- サントリーホールチケットセンター TEL:0570-55-0017 オペレーターが対応いたします。
※電話受付・窓口の営業は当面の間10:00~16:00(休館日を除く)。
窓口営業は、公演開催日は開演時刻まで営業。※営業時間は変更となる場合があります。

チケット料金(税込)

S席 ¥30,000 / A席 ¥26,000
B席 ¥18,000 / C席 ¥12,000
D席 ¥8,000 / 学生席 ¥5,000
※学生席は入場時学生証のご提示が必要です。

2020年7月22日、2020年11月28日のチケットをお持ちのお客様は、お手持ちのチケットでご入場頂けます。

大阪公演

11月6日 (SAT) 2021年 15:30開場 / 16:00開演 会場:フェニーチェ堺(大ホール)
ピアノ:マルコ・ボエーミ

チケットのお申込みはこちら

- アーチ・チケット <http://arch-ent.jp/> (インターネット販売のみ)
※お買い求めには登録料・年会費無料の会員登録が必要です。
- フェニーチェ堺 <https://www.fenice-sacay.jp/event/120211106/>
窓口販売時間 9:00~20:00 ※休館日 第1・3月曜(祝日の場合は開館)、年末年始、その他臨時休館あり
WEB受付(24時間) ※sacayメイトの無料登録が必要です
- その他一般プレイガイドも今後発売予定です、決まり次第HPにてご案内いたします。

※ピアノ伴奏に変更となりました。それに伴い開場開演時間とチケット価格を変更しました。

チケット料金(税込)(2021年8月28日更新)

S席 ¥24,000 / A席 ¥20,000
B席 ¥12,000 / C席 ¥8,000
D席 ¥5,000 / 学生席 ¥4,000
※学生席は入場時学生証のご提示が必要です。

ヴィットリオ・グリゴロ

～比類なきテクニックとカリスマ性が共存する唯一無二のテノール

香原斗志(オペラ評論家)

「ポスト三大テノール」といわれた歌手はほかにもいるが、ヴィットリオ・グリゴロは実際、「三大テノール」の長兄、ルチアーノ・パヴァロッティの薫陶を受けている。それだけではない。パヴァロッティは彼に「きみは僕が教えることができないなにかを持っている。それはカリスマ性だ」と伝えたという。

その言葉通りに、オペラ発祥の国イタリアを代表するテノールのカリスマとして、世界の一流歌劇場に君臨するグリゴロ。オペラの舞台では常に完璧な歌唱で熱狂を呼び起こすが、それで終わらない。聴衆には後々までグリゴロという歌手の強い存在感が残る。役柄を超えて存在する彼のカリスマ性の正体である。

むろんカリスマ性は、正攻法で築き上げた盤石のテクニックに支えられている。完璧な呼吸法と声の響かせ方を心得ており、声を半分に落してやわらかく歌うメッサヴォーチェで歌いはじめ、音量を漸増させて濃厚に響かせ、再び漸減させるという手の込んだ歌い方もたやすくこなす。すると、旋律に変幻自在の色彩とニュアンスが加わる。それが言葉の意味とからみ合っ、楽曲に生命が吹きこまれる。それは作曲したドニゼッティも、ヴェルディも、プッチーニも望んだ理想的な歌い方だが、いまグリゴロを除いて、こうしたテクニックを十全に習得しているテノールはいない。

フランス・オペラへの傑出した適性もある。ネイティブ並みの美しいフランス語で歌われる叙情的でやわらかい旋律は比類ない。(ロメオとジュリエット)の「ああ、太陽よ、昇れ」を、若者の抑えきれぬ恋心に、青春に特有の恋するがゆえの切なさまでにじませて歌う。(マノン)の「夢の歌」を、夢に浸りつつも破綻の予感までにじませて歌い、聴き手の哀感を誘う——。それを至芸といわずして、なんというのか。三大テノールが東になったような音楽性と、精神性と、カリスマ性。これを味わわないのは、あまりにもったいない。



ヴィットリオ・グリゴロ PROFILE

幼少期から歌に傾倒し、9歳でパチカンのシスターナ礼拝堂聖歌隊に入隊すると、ソリストとして活躍。13歳のときは、パヴァロッティが出演したローマ歌劇場の(トスカ)で羊飼いの少年役を務めた。23歳でミラノ・スカラ座の舞台に立つて以来、破竹の快進撃を続ける。スカラ座はもちろん、英国ロイヤル・オペラ、メトロポリタン歌劇場、ウィーン国立歌劇場、チューリッヒ歌劇場、バイエルン州立歌劇場など、欧米の名立たる歌劇場で主役を歌い、「現代最高のリリック・テノール」の呼び名をほしいままにしている。

時に「パヴァロッティの再来」と称されるが、現に(ラ・ボエーム)のロドルフォ役へのデビューに当たり直接助言を受けるなど、パヴァロッティとの縁は深かった。卓越した歌唱テクニックを誇り、ドニゼッティ、ヴェルディ、プッチーニらが作曲したイタリア・オペラのレパートリーに秀でるが、フランス・オペラでも他を寄せ付けない。2016/17シーズンにメトロポリタン歌劇場で歌ったマスネ(ヴェルテル)は、ニューヨーク・タイムズ紙で「彼は現在、世界で衝撃的なまでに説得力がある歌手かもしれない」と評された。録音も多く、デビューアルバムがビルボード・クラシック部門の第1位を獲得している。

VITTORIO GRIGOLO

ヴィットリオ・グリゴロの芸術

ザ・ロマンティック・ヒーロー
¥2,600+税
CD ● SICC 30218

アヴェ・マリア
¥2,400+税
CD ● SICC 1775

アリヰエデルチ
¥2,400+税
CD ● SICC 1505

イタリアン・テナー
¥2,400+税
CD ● SICC 1442

CD 絶賛発売中

主催:株式会社アーチ・エンタテインメント
協賛:三菱地所株式会社(10月31日サントリーホール公演)
協力:株式会社BSフジ
公演に関するお問い合わせはこちらまで info@arch-ent.jp

最新公演情報・アーチチケットHP
<http://arch-ent.jp>

